

8月のイベント・活動報告

8月

- | | | | |
|----|---------------------------|-----|-------------------------|
| 1日 | 営業素材説明会 | 10日 | 大型客船ぱしふいっくびいなす入港 |
| 3日 | KBC「水と緑のマルシェ」 | 18日 | 壱岐ビーチフェスティバル in ツインズビーチ |
| 3日 | 壱岐大神楽公演 | 21日 | 大型客船にっぽん丸入港 |
| 5日 | シンガポールFollow Me Japan 来島 | 26日 | うきは市体験交流事業（28日まで） |
| 5日 | JR西日本担当者会議（6日まで） | 26日 | 山陽新幹線沿線旅行会社セールス（28日まで） |
| 6日 | 営業推進部会セールス（9日まで） | 26日 | 日刊ゲンダイ 取材対応（27日まで） |
| | 鹿児島・熊本・宮崎・大分・山口・福岡市内 | 26日 | 修学旅行誘致活動 東京（29日まで） |
| 8日 | 福岡コンベンションビューロー修学旅行セールス打合せ | | |

■営業素材説明会

8月1日市内の各施設営業担当者様向けの誘致助成金等の説明会を県観光連盟・壱岐市にもご協力いただき開催いたしました。

長崎県が実施する「しま旅滞在促進事業（国境離島）をはじめ、壱岐の旅行商品を造成するにあたり旅行会社が活用できる助成金は多数あります。日頃から全国各地の旅行会社に訪問セールスされる各施設の営業担当者様に有効にご活用いただき壱岐への誘客促進を図るためはじめて開催いたしました。

今後もこのような説明会を開催して参りますので、会員皆様のご出席をよろしくお願いいたします。

■大型客船受入について

8月10日「ぱしふいっくびいなす」が入港し、508名のお客様が神戸港よりご来島いただきました。また、21日には「にっぽん丸」が寄港し、409名のお客様に姫路港よりご来島いただき、島内観光を楽しまれました。

「ぱしふいっくびいなす」は当初屋久島へ寄港予定でしたが、台風接近のため、急遽郷ノ浦港への入港となりました。関係者皆様のご協力をいただき、お客様からも「壱岐でよかった」等の声も多数いただきました。

今後も、急な入港でも対応可能な港としても受入環境の整備に努めて参ります。

■壱岐ビーチフェスティバル in ツインズビーチ

8月18日（日）ツインズビーチフェスティバル実行委員会主催による『壱岐ビーチフェスティバル in ツインズビーチ』が開催されました。今回は、島外12チーム島内6チームの全21チーム、100名以上の方が参加された。

大会当日は、ビーチバレー大会以外にストラックアウト大会・スイカやとてんの早食い大会等が行われ参加選手・応援者の方に大変ご好評いただきました。



■うきは市体験交流事業

8月26日～28日に福岡県うきは市にて自然や魅力に触れ合う体験交流事業を実施し、島内から男女30名の生徒が参加いたしました。終始雨模様であり、二日目の夜には大雨特別警報が出るなど、行程変更をしなければならぬ場面も多々ありましたが、うきは市職員、壱岐市教育委員会をはじめ、たくさんの方々にご尽力いただき無事に事業を終えることができました。次年度もより良い事業にしていきます。



■修学旅行誘致活動 東京

8月27日～29日にかけて福岡観光コンベンションビューロー主催の修学旅行誘致宣伝隊活動に参加しました。今回は東京都立の高校を対象とし、福岡・壱岐を旅行先として選んでいただけるよう営業活動を行いました。

都立高校の中には九州方面を検討しているところも多く、今後に期待がされます。

都立高校は生徒数も多く、目下の課題としては、体験・宿の受入体制の見直しが必要と思います。十分な受入ができるよう、関係各所と連携し、関東圏の学校の来島実績の増加に向けて努めて参ります。



今後のイベント・スケジュール

9月

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 2日 一般・教育旅行に関する講演会 | 13日 台湾向け情報発信事業 (14日まで) |
| 3日 島の宝観光連盟 幹事会 | 15日 第3回 壱岐-福岡ヨットレース前夜祭 |
| 3日 関西地区修学旅行セールス | 16日 第3回 壱岐-福岡ヨットレース |
| 5日 法政大学第二中学校受入 (7日まで) | 19日 台湾旅行会社商談会 |
| 8日 第23回玄界灘ビルフィッシュトーナメント | 24日 駒場東邦高校修旅受入 |
| 11日 壱岐観マルシェ in 博多駅 (12日まで) | |

観光連盟からお知らせ

■ユニバーサルツーリズム講演会

日本では65歳以上の割合が27%を超え超高齢社会に突入しています。少子高齢化が進む我が国にとって、高齢者や障害者に対応できる環境を整えることは必然であるとともに、不自由なく楽しめる観光スタイルのニーズも高まることが予想されています。

現在、全国の旅行会社ではそのニーズに応えるため、観光施設におけるバリアフリー情報の発信や、どなたでも楽しめる旅行商品の造成に力を入れているところです。

当日は、旅行会社JTB様よりユニバーサルツーリズム推進担当マネージャーをお招きし、実際のマーケット状況、全国の取組事例、JTBが実施するサービス内容などを中心にお話いただきます。

日時：令和元年10月3日(木) 14:00～15:30

場所：壱岐の島ホール大会議室

テーマ：「ユニバーサルツーリズムってなに？」

講師：(株)JTB個人事業本部 事業統括部

全社ユニバーサルツーリズム推進担当マネージャー

関 裕之 様

JTBグループ全社における「ユニバーサルツーリズム」の推進を担当。

JATA 日本旅行業協会 ユニバーサルツーリズム 推進部会 メンバー。

これまでに観光庁「ユニバーサルツーリズム促進事業」ワーキング、JATAの「障害者差別解消」特別委員会等に多数参画し、自治体・企業・大学などで講演活動も行う。

